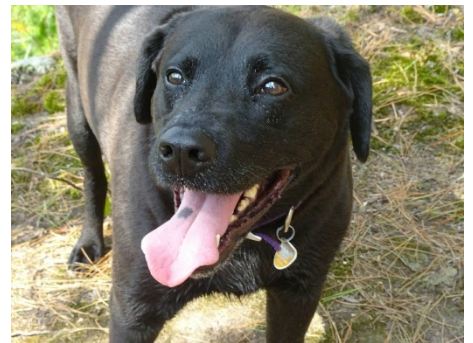


・日本出発

私たちは関西国際空港から搭乗し、サンフランシスコ国際空港で国内線に乗り換えてオヘア国際空港へ向かいました。日本での手荷物検査や出国手続きはスムーズに行えたのですが、アメリカではたくさんの質問をされたり、案内板が英語でどこに行けばいいのか迷ってしまったりして、到着したときには4人とも疲れきっていました。また、途中のサンフランシスコからの飛行機が2時間ほど遅れる事態が発生し、現地に着いたのは夜の9時45分頃でした。空港で手続きなどを済ませ、到着ロビーのようなところに行くと、そこでは現地で1年間お世話になる先生が待っていてくださいました。その先生の車に乗せていただき、空港からウィスコンシン州まで約2時間かけて移動しました。それからは順番にホストファミリーの元に下ろしてもらい、各自の家に連れて帰ってもらいました。私ที่บ้านに着いたのは午前1時頃で夜遅かったのですが、ホストファミリーはみんな起きて待っていてくださいました。

・ホストファミリーとの生活

私のホストファミリーはみんな優しく、仲がいいです。食事の時には丸いテーブルを囲みながら、今日学校であったおもしろかったことや、新たに学んだことについて会話をします。ホストファザーはとても頼りになる存在で、いつも私たちのことを助けてくれます。仕事が忙しく、1週間ウィスコンシン州の北部に行かなければいけなかったり、土曜日



も出勤することがあったりするのにもかかわらず、家族サービスも忘れません。休みの日には庭の芝刈りや窓ふきなどの家事をこなすほか、プロのフットボールの試合に連れていってくれることもあります。ホストマザーは、家族1人1人を大切にしてくれています。私は、アメリカに来てから1～2週間は食事のときや車に乗っているときなどに静かになっ



てしまいがちだったのですが、そんなときも「今日は学校楽しかった？」などと、話しやすい環境を作ってくれます。また、私は英語を勉強する中でスピーキングが最も苦手で、せっかく話題を出してくれても上手くしゃべることができないときがたくさんあります。でもホストマザーは、私が伝えようとしていることを理解するために一生懸命聞くなどしてくれます。「分からないことがあったら、質問することを恐れないでね。」とも言ってくれるので、安心して過ごすことができます。ホストシスターは本当にかっこよくて、私の憧れの存在です。私が分からないことがあって質問したときには、すぐに説明するなどして助けてくれます。また、彼女が友だちの家に遊びに行く

ときに、「一緒に行く？」と聞いてくれたこともありました。平日学校にいるときはアメリカ人の友だちを作る機会がなかなか無いので、誘ってくれたときはとても嬉しかったです。それから、彼女は日本のアニメや漫画がすごく好きで、日本にすごく興味を持ってくれています。日本語を勉強したいと考えているので、晩ご飯のあとなどを利用して、日本とアメリカの文化や日常生活について教えあう、ということもしています。

私のホストファミリーは1～2ヶ月に1度ほど、ウィスコンシン州の北部にあるホストファミリーのキャビンに遊びに行っています。私も9月の中旬に、そこに連れていってもらいました。私の住んでいる南部は車がたくさん走っていて、お店も多く建っているのですが、ここは雰囲気





また、ここに来てからのホストファミリーとの一番の思い出は、みんなでプロフェッショナルのアメリカンフットボールの試合を観戦しに行ったことです。私はアメフトのルールを全く知らなくて、試合も観たことがなかったのですが、本当に楽しかったです。アメフトのスタジアムで見た光景は、これまでに見たことのないものばかりで、今でもその景色を鮮明に覚えています。日本ではアメフトのことがあまりニュースで取りあげられていないので、もっと多くの人にこのスポーツの魅力を知ってもらいたいなと思いました。

・Martin Luther High School での生活

私の最初の登校日は、8月の下旬に行われた新入生オリエンテーションの日でした。その日は、学校のGPAのしくみや部活動についての説明を聞き、最後に学校ツアーをして一日が終わりました。私はその後、ホストファミリーが迎えに来るまで自分が受ける授業を選択しました。この学校は大学のように、自分が受けたいと思った科目を受けられるので、すごくおもしろいと思いました。私は、留学生用の英語のクラスであるELL-Grammar、ELL-Speaking、ELL-Writing、ELL-Readingと、Intro to Lutheran Theology(宗教)、American Culture(社会)、Advanced Algebra/Trig(数学)、Spartans Band(音楽)を取ることにしました。校舎は1つで地下を含めると3階あり、最初は迷路のように感じました。しかし、毎日授業を受けるうちに、自然と覚えることができました。また、この学校はプロテスタントの学校で、毎週月・水・金曜日の2時間目の後にChapelの時間があります。この時間は清心の霊的講話のような時間で、全校生徒が学校内にある礼拝堂に集まり、学校の先生や卒業生の方がキリスト教の教えなどについて、分かりやすく教えてくださいます。Chapelの時間をとっていることから分かるように、アメリカは宗教というものをとても大切にしています。その分、宗教の授業のレベルも高いです。私たちはまず最初に、聖書とは何かについて学びました。そして、実際に聖書を使って、それぞれの章の著者(モーゼやヨハネなど)が、私たちに何を1番伝えたいのか考えたり、モーゼの十戒について詳しく学んだりしています。私はもともと宗教に興味があったので、とても楽しいです。

また、9月22日にはSpartathonという学校行事が催されました。この行事は体育祭のようなものですが、それよりもあまり勝ち負けにこだわらず、みんな楽しそうにスポーツをしていました。行われた競技は、テニス、卓球、ドッジボール、バレーボール、サッカーなどで、私はバドミントンをしました。中国からの留学生の方はスポーツが得意な人が多いようで、どの競技でも大活躍していました。それから私たちはSpartathonの前日に、学年ごとに色が柄が違うTシャツをもらいました。私の学年は赤色で、他の学年は黄緑色や水色ととてもカラフルでした。この日だけは校則で禁止されている、ジャージを着てくることや顔にペイントをすることが許可されたり、午前中の授業が21分だけしかなかったりして、自由な雰囲気が漂っていました。10月の下旬にはHome Comingというパーティーがあり、参加するのがとても楽しみです。



・学校生活について

10月に起きた最も大きなイベントは、12日～17日のにあった Homecoming Week でした。この一週間は行事がたくさんありました。なので、充実していたけれども忙しかったです。

12、13、15日は Costume Day でした。これらの日は、Dress Code に沿った上で、決まったテーマの服を着てくるというものでした。12日は Hero & Heroine がテーマで、みんなの思うヒーロー、ヒロインの仮装をしました。Uncle Sam や Captain America などの仮装をしている人が学校中にたくさんいて、見ているだけで楽しかったです。この日のために、私のホストシスターもコスチュームを作って着ていました。彼女はアニメに出てくるキャラクターになるべく、早起きをしてメイクから髪型まで丁寧にセットしていました。あまりにも本格的だったので、朝会ったときは一瞬誰かと思いました。13日は 1960s がテーマでした。この日は、少し前に流行った服を着る日でした。女子は蛍光色の服、男子はチェックのシャツにジーンズを着ていた人が多かったように思います。15日はクラスごとに決められた色の服を着る日でした。私たちのクラスはオレンジ色、一緒に行った先輩方は紫色がクラスカラーでした。私は12、13日は何も



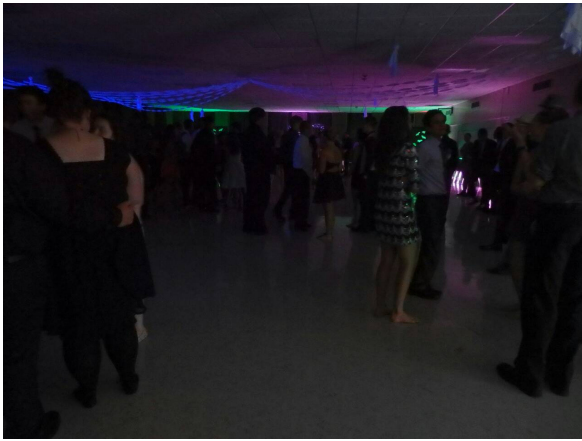
しなかったので、この日は参加してみようと思い、前日に学校の前にあるモールでオレンジ色の服を買うことにしました。しかし良いものがなかなか見つからず、最終的には学校で配られた、オレンジ色の Homecoming Dance T-shirt を着ることにしました。これらのクラスカラーに合わせて、その日のランチもオレンジ色や紫色の材料を使ったものが出されていたので、いつも以上にお皿の上がカラフルでした。

また、14日は Test day でした。この日は全校生徒が ACT という、大学の入試に関わってくるテストを受けました。科目は Grammar や Writing などの英語だけではなく、Science や Math などの理系の科目もありました。英語はともかく、Science や Math は全然分かりませんでした。そもそも問題文が理解できなくて答えられなかった問題も何個もあるので、自分の英語力の無さを実感させられました。これからは今まで以上にたくさん勉強していかなければ、と思いました。

そして、16日は Homecoming Football Game がありました。このアメフトの試合は1年のうちで1番大きい試合です。ハーフタイムには、学校のダンスチームや新体操の得意な生徒の方がパフォーマンスをしていて、会場のボルテージもすごく上がっていました。そしてその効果もあってか、今まで話したことがあまりなかった、中国やベトナムからの留学生の人と仲を深めることができ、一緒に写真を撮ったり、Facebook を交換したりしました。とても楽しい時間を過ごすことができたと思います。

ちなみに、この右の写真のキャラクターは、私が留学している学校のマスコットキャラクターです。





最後は、17日は一週間のうちで最も大きなイベント、Homecoming Dance です。これはダンスパーティーで、女子はドレスを、男子はスーツを着て参加します。カップルで参加している人たちもいましたが、友だち同士で楽しんでいる人もたくさんいました。ダンスの会場内は暗くて、まるでクラブのようでした。また、踊りやすくするために、みんな入り口でハイヒールを脱いでいたので、とても驚きました。そして、ダンスの後には、ホストファミリーが後夜祭のようなものを開いたので、私の友だちを招待しました。学校の休憩時間は4分間しかなく、あまり話す時間がなかったので、日本のアニメのことや、中国

の文化など、いろいろなことを話すことができ、楽しかったです。

・ホストファミリーとの生活

Homecoming Week の一週間前、ホストファミリーがウィスコンシン州の北にあるミシガン州に連れていってくれました。そこはかつて鉱山業が盛んで、その足跡をたどる Miner Tour というものに参加しました。これを見る前まで、私はミシガン州は自然の多い、のどかなところだと認識していました。しかしこのツアーを通して、歴史的背景を学ぶことができました。その後には、ホストブラザーが通っている大学の中を見学しました。日本の大学と異なる点がたくさんあり、すごく勉強になりました。あと2年ほどの間で自分の進路を決めなければいけないと思うので、いろいろ考えさせられました。でも、とても良い経験ができたと思います。

